
「小児心臓 CT における split bolus 法の有用性」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023 年 1 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターにおいて上大静脈の評価が必要な小児心臓 CT 検査を撮影された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

Split bolus 法で造影された小児心臓 CT の画像を用いて、split bolus 法の有用性の評価を行います。

Split bolus 法とは造影 CT における造影剤を注入する方法の 1 つであり、通常の造影剤の注入とは異なり分割して造影剤を注入することにより複数の時相の画像を 1 回の撮影で得ることができます。今回の撮影では肺動脈と上大静脈の同時描出を目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025 年 2 月 28 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 か月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

CT 検査の画像

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である池野裕介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

上大静脈の評価が必要とされた小児心臓 CT 検査で撮影された画像を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 池野裕介（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 池野裕介

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

042-984-0087

lkeno_y " AT " saitama-med.ac.jp(" AT " を@に置き換えてください)

○研究課題名： 小児心臓 CT における split bolus 法の有用性

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 池野裕介